

# 令和4年度

## 議会報告会



### 《 次 第 》

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 班員紹介
- 4 報 告
  - (1) 令和3年度 議会の活動状況
  - (2) 予算、決算等の審議概要
- 5 報告についての質疑応答
- 6 意見聴取
- 7 閉 会



【能代市議会】

## 【議会報告会日程】

日	時	会 場	担当班
11月18日(金)	午後6時00分	南部公民館	1 班
		中央公民館	2 班
		向能代公民館	3 班

## 【議会報告会班構成】

班	班 長	班 員 (議席番号順)		
1 班	藤田 克美	安井 英章	鍋谷 暁	藤田 拓翔
		阿部 誠	安岡 明雄	渡辺 優子
2 班	菅原 隆文	菊地 時子	今野 孝嶺	畠 貞一郎
		針金 勝彦	後藤 健	
3 班	武田 正廣	相場未来子	大高 翔	渡邊 正人
		小野 立	落合 範良	

## 4 報 告

### (1) 令和3年度 議会の活動状況

#### ① 本会議等

月 日	事 項
6月 8日	6月定例会を開会した(23日まで)
6月23日	議会改革調査特別委員会を設置した
9月 7日	9月定例会を開会した(30日まで)
11月30日	12月定例会を開会した(12月22日まで)
1月19日	1月臨時会を開会した(21日まで)
2月21日	3月定例会を開会した(3月17日まで)

議会開会回数 定例会 4回 臨時会 1回

会期合計日数 91日(うち開議日数23日)

本会議平均出席議員数 19人(条例定数20人)

#### ② 議案の議決件数

(単位:件)

区 分	市 長 提 出							議 員 提 出		計
	可決	修正 可決	同意	認定	承認	否決	継続 審査	可決	否決	
条 例	32							2		34
予 算	50									50
決 算				3						3
専 決					8					8
意見書								5		5
その他	18		4					1		23
計	100	0	4	3	8	0	0	8	0	123

#### ③ 請願・陳情処理件数(単位:件)

区 分	請 願	陳 情
採 択	1	5
不 採 択	1	9
取り下げ		
一部採択等		
継続審査	1	1
審議未了		
計	3	15

④ 常任委員会・特別委員会等開催数

区 分	回数 (回)	備 考
委員会開催数	79	
予算委員会	20	
部門別常任委員会	17	総務企画5、文教民生6、産業建設6
議会運営委員会	24	
特別委員会	18	決算5、議会基本条例策定4、 議会改革調査9
その他会議の開催数	25	会派代表者会議14、 議会運営委員会協議会3、広報委員会8

⑤ 行政視察及び会派視察等

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、行政視察及び政務活動費を使用しての視察は行いませんでした。

## (2) 予算、決算等の審議概要

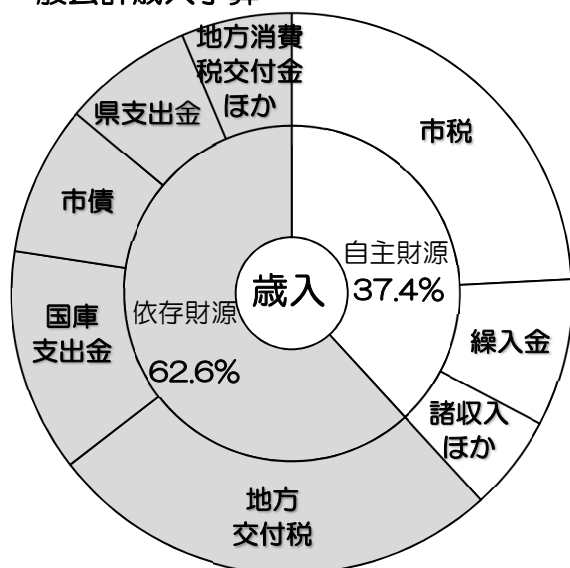
### ① 令和4年度能代市一般会計当初予算について

一般会計とは、福祉、教育、産業振興、道路整備などまちづくりに必要なお金を経理する会計で、令和4年度当初予算は296億3000万円となっています。

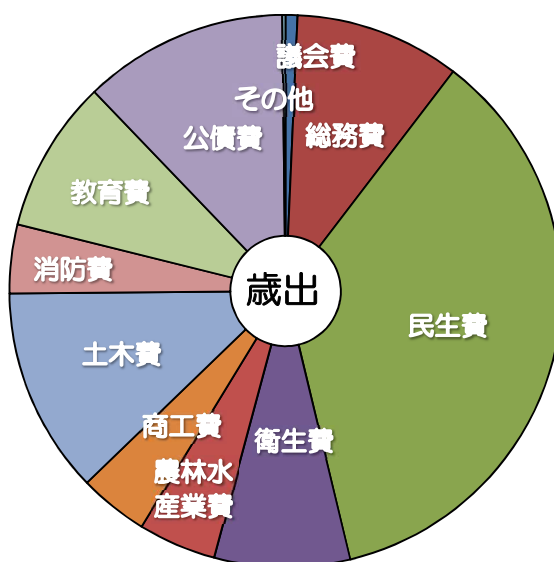
毎年3月定例会において、市長から次年度の予算案が提案され、令和3年3月定例会からは、予算委員会において詳細な審査をしています。その予算委員会に設置された分科会での主な質疑をお知らせします。

なお、令和4年度一般会計当初予算は、全会一致で可決しました。

一般会計歳入予算



一般会計歳出予算



市税	(24.2%) 約 72 億円	議会費	約 2 億円 市議会の運営に
繰入金	(8.5%) 約 25 億円	総務費	約 29 億円 まちの行事や防災、市役所の管理などに
諸収入ほか	(5.5%) 約 16 億円	民生費	約 106 億円 高齢者や障がい者、子供達などのために
地方交付税	(26.3%) 78 億円	衛生費	約 23 億円 ごみ収集、健康診査や予防接種などに
国庫支出金	(12.9%) 約 38 億円	農林水産業費	約 14 億円 農業や林業の振興などのために
市債	(8.7%) 約 26 億円	商工費	約 12 億円 中小企業や工業や観光などの振興のために
県支出金	(7.5%) 約 22 億円	土木費	約 36 億円 道路や下水道の整備などに
地方消費税交付金ほか	(6.4%) 約 19 億円	消防費	約 12 億円 消防活動や救急業務などに
		教育費	約 26 億円 学校や文化・体育施設などの教育関係に
		公債費	約 35 億円 市の借入金返済に
		その他	約 1 億円 災害など緊急時の予備などに

## 【総務企画分科会】

議会費、総務費、消防費、公債費などの歳出と、それに関連した歳入のほか市税などを主に審査しています。

質 固定資産税を令和3年度当初予算比で増額計上とした主な理由は。

答 評価額の高いイオンタウン能代等、家屋の新築があったことや、新型コロナウイルス感染症に係る固定資産税を軽減する特例措置が終了したこと、また、能代火力発電所3号機の償却資産に係る算定において、3年度当初予算に用いた値を上回る総務大臣配分があった影響などにより、増額計上とした。

質 道の駅ふたついを訪れた方々を町なかの商店街に誘導するための取組状況は。

答 道の駅ふたついの多目的ホールに、商店街を宣伝する大型看板を設置しており、QRコードを用いて各商店の情報発信を行っている。また、3年度には、夏、秋、冬の各シーズンにおいて、飲食店の情報を中心とするパンフレットを配置し、PRに努めたところ、掲載店からは、道の駅からの誘客が図られている、との声をいただいている。今後も、こうした取組を地道に続けて、町なかへの誘客に努めていきたいと考えている。

質 空家対策事業における現在の状況と対応、今後の課題は。

答 今年度の調査に基づき把握している空き家等の総数は、4年2月末現在で2422件となっている。今冬は大雪であったことから、隣接する空き家等からの落雪による物件破損や除排雪の問題など、これまでにはあまりみられなかった苦情が多く寄せられた。原因が必ずしも建物の老朽化によらない案件もみられたため、所有者等による物件状況把握の重要性を改めて感じたところである。今後も引き続き、所有者等への情報提供等に努め、特に危険な空き家等については、適正な管理を早急に行うよう促していきたいと考えている。

## 【文教民生分科会】

民生費、教育費などの歳出と、それに関連した歳入を主に審査しています。

質 後期高齢者医療保険料の窓口負担割合は今後どのようになるか。

答 法律の改正により、令和4年10月から一定以上の所得がある75歳以上の方に2割の自己負担をお願いするものである

質 子ども館展示室リニューアル整備事業は、市が課題と認識している屋内遊具施設の整備ということか。

答 1階自然科学館の展示物や遊具の経年劣化が進んだことや、時代のニーズに合わなくなってきたこと、また来館者も減少傾向であることから、リニューアルを行うものである。2階の宇宙館展示資料と連動する形で、1階も宇宙のまちをテーマとし、大型ネット遊具や新規展示アイテムの設置等を行うものであり、屋内遊具施設の整備とは考えていない。

## 【産業建設分科会】

衛生費、農林水産業費、商工費、土木費などの歳出と、それに関連した歳入を主に審査しています。

質 風の松原いこいの広場のフィールドアスレチック改修工事の予定は。

答 3年度予算を繰越し、今春5基、4年度4基、合計9基を改修する予定である。

質 天空の不夜城推進事業費に関し、役七夕との連携について、どのように考えているか。

答 天空の不夜城は、能代市も連携し新たに立ち上げた観光コンテンツで、今後の運行については、様々な課題があると捉えている。他方、役七夕は市を代表する伝統行事であると同時に観光コンテンツでもあり、同行事との連携も課題の一つと考えているため、課題解決に向け、天空の不夜城協議会と調整していきたいと考えている。

質 市営住宅供給事業費に関し、万町住宅建替事業の今後の予定はどのようになっているか。

答 4年度は建替住宅の実施設計のほか、解体及び外構工事の実施設計等を行い、5年度に既存の建物を解体、同年度から6年度にかけて建設、7年度から入居開始予定である。

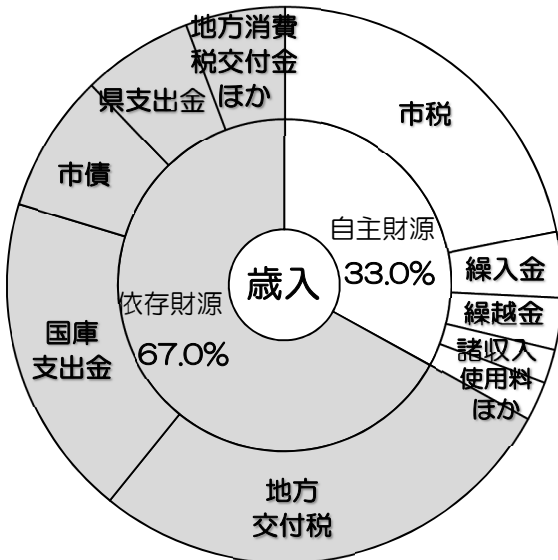


② 令和3年度能代市一般会計決算及び特別会計決算について

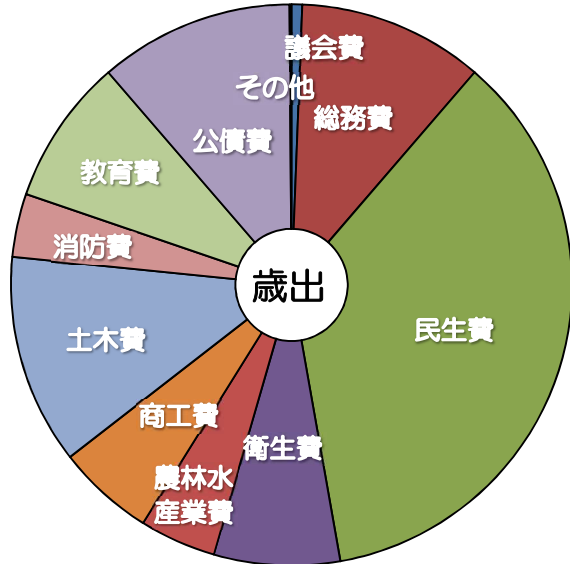
市における決算とは、一会計年度の歳入歳出予算の執行の実績を表したものです。令和3年度一般会計決算は、歳入総額が330億6499万8332円、歳出総額が316億9807万7814円で、実質収支は10億5202万6831円でした。

9月定例会において市長から前年度の決算書等が提出され、予算が適正に執行されたか、収入が適正に確保されたかなどを決算特別委員会分科会で詳細に審査しました。令和3年度決算については、賛成多数で認定しています。

一般会計歳入決算



一般会計歳出決算



市税	(21.9%) 約 73 億円	議会費	約 2 億円 市議会の運営に
繰入金	(3.8%) 約 13 億円	総務費	約 34 億円 まちの行事や防災、市役所の管理などに
繰越金	(3.0%) 約 10 億円	民生費	約 114 億円 高齢者や障がい者、子供達などのために
諸収入	(2.0%) 約 7 億円	衛生費	約 23 億円 ごみ収集、健康診査や予防接種などに
使用料ほか	(2.3%) 約 7 億円	農林水産業費	約 14 億円 農業や林業の振興などのために
地方交付税	(27.8%) 約 92 億円	商工費	約 18 億円 中小企業の振興や工業振興などのために
国庫支出金	(18.9%) 約 62 億円	土木費	約 38 億円 道路や下水道の整備などに
市債	(8.0%) 約 27 億円	消防費	約 12 億円 消防活動や救急業務などに
県支出金	(6.5%) 約 21 億円	教育費	約 27 億円 学校や文化施設、スポーツ施設などに
地方消費税交付金ほか	(5.8%) 約 19 億円	公債費	約 35 億円 市の借入金返済に
		その他	災害など緊急時の予備などに

## 【決算特別委員会】

一般会計のほか国民健康保険特別会計、介護保険特別会計など 10 ある全ての特別会計の決算を審査します。

質 一般会計決算を踏まえ、実質単年度収支の推移をどう分析しているか。

答 能代火力発電所の設備投資等に伴う固定資産税の増や、国税収入の補正等に伴う普通交付税の追加交付等による財政調整基金繰入金の減が、3年ぶりに黒字となった主な要因と捉えている。しかし、中長期的には人口減少等の影響により、市税や地方交付税の減が見込まれるため、今後も一般財源の確保に努めていく必要があると考えている。

質 3年度に実施した子育て支援策はどのようなものがあったか。

答 コロナ禍における子育て世帯への支援として、対象児童1人につき、子育て世帯臨時特別給付金事業により10万円を、さらに対象となる場合は子育て世帯生活支援特別給付金給付事業により5万円を支給した。また、新たな事業として、一時的に子供を養育することができない保護者の方のために、ショートステイ事業を開始した。

質 がんばるのしろの商い応援事業費（新型コロナ対策）の誘客効果は。

答 種苗交換会の開催期間中に畠町大通りを歩行者天国にして様々なイベントを行ったり、商店街独自の商品券を発行するなど6事業を実施し、2年度よりブラッシュアップした内容となったため、多くの誘客が図られたと考えている。